



ながさき・ぶらんど物語(イノベーション)塾





■ 塾長コメント ■

「塾活動の成果」

長崎伝習所塾は、市民の皆様にとって大切な「血税」からの助成金にて活動をさせていただいております。

当塾では、長崎伝習所塾発足時のコンセプトである「人材育成事業」を基本に活動をしてまいりました。

「イノベーション＝技術革新」という一般的な考え方に止まらず、様々なフィールド（地域・仕事・組織等々）において直面するボトルネックの解決策を議論、そのための創意・工夫・実践を目的としスタートし、

「長崎を元気にする企画」実現に真剣に取り組んでまいりました。

長崎市は、歴史や文化の面でも、ポテンシャルの非常に高い街であり、それを活かすか否かは結局「人」であることが昨年度の大きな気付きであり、来街者に対する高い「ホスピタリティサービス」こそが、これからの鍵なんだと強く感じました。

今年度は、それらを踏まえ、先人たちが残して下さったモノを再認識し、歴史という物語を紐解きながら、様々な活動を行ってまいりました。

【T・グラバー大河ドラマ計画】

今年度の大きなテーマであった「T・グラバ

ー大河ドラマ計画」では、グラバー生誕の地スコットランドにおいて、名優であるショーン・コネリーをグラバー役とした映画化を予定していたことを現地の新聞記事で知り、またその原作本の存在がさらに私たちの背中を押してくれました。後に、次回大河ドラマ「龍馬伝」との報道で、塾生の中に衝撃が走ったのは言うまでもありませんが、“外国人を主人公とする”初の大河ドラマの計画は変わっておらず、今後も継続し活動を続けてまいります。

【ながさき・ぶらんど商品化計画】

「ながさき・ぶらんど商品化計画」では、缶詰発祥にならい「長崎‘感’詰」の具体化に取り組みました。長崎では、皿うどんをはじめ、様々な料理でソースが素晴らしい脇役であります。旧居留地である長崎市大浦町にあった長崎ブランド「金蝶ソース」。

「長崎‘感’詰」商品化第一号として、たくさんの方々に支えていただき、長崎で生まれたこのソースを使った煎餅を開発・商品化いたしました。勿論、缶詰です。まだまだ中身の多面化等の工夫は必要でありますし、これからも楽しみであります。

【フィールドワーク】

イノベーションを実践していく上で、「温故知新」をキーワードとし、以下のフィールドワークを行いました。

「長崎居留地さるく」では、さるくガイドの桐野さんと共に歩き、地元であるがゆえに日常化していた歴史の掘り起こしと発見、また、歴史的建造物の有効活用等についても参加者全員で考えました。

「佐賀市視察」では、長崎街道を塾生らと共に歩き、“外から長崎”という視点から、長崎の素晴らしさを再発見できました。

現在では、「佐賀イノベーション塾（佐賀市）」「苓北創新塾（熊本県苓北町）」も発足し、横断的なネットワークを構築。ヒト・モノの交流も盛んになってきています。

私どもの活動が、やがては地域や社会への貢献となることを願い、今後も携わってまいります。

塾と通して頂いた「御縁」並びに多大なご支援に心から感謝申し上げます。

■塾の目的■

長崎の魅力づくりには、長崎伝習所の設立目的と同様に、市民・行政の垣根を越えて、共に、地域の魅力についてより広く深く学びながら、市民自身もそのわかりやすい表現と、発信力を育てていくことが大切だと思われます。当塾では、昨年度に引き続き、長崎特有の魅力再構築のために、市民発の長崎ブランド形成過程に起きる課題を経営学分野の情報イノベーション普及論と重ねながら解決策を共有し、新しい地域の魅力について協働しながら地域ブランドを「ものがたり化」新しく創造・再構築することを目的としました。

■平成20年度の塾の研究・活動内容■

長崎東山手の歴史的建造物を民間で活用している地球館（国際交流塾運営）を会場に、「市民参加」をキーワードに、地方都市の地域・社会・企業・経済が抱える諸問題解決への糸口探しとその具体的実践についての研究を行いました。具体的には下記の内容です。

1・定例会により本地域内の組織（企業・ボランティア団体など）の運営や個々の事業における生産性やサービス、ライフスタイルなど様々な形態における成長過程での成

功・失敗事例を共有。長崎や長崎で活動する団体が抱える問題点や改善すべき点等を抽出。

- 2・目標設定と目標達成のための方法や解決策を提案
- 3・現場研修（フィールドサーベイ）を実施
- 4・長崎イノベーションのモデル化
- 5・地域イノベーション研究実践者との交流
- 6・シンポジウムの実施
- 7・長崎における「市民参加」による長崎地域人材クラスター形成へ向けての各種実践（部会や情報プラットフォームの開設等）

■平成21年度以降の活動展開予定■

本塾で培った「市民力による地域イノベーション」と、ネットワークによって、今後もワークショップ・フィールドサーベイなどの実践を繰り返し、行政との市民協働の運営を模索しながらこの活動を具現化して参ります。

さらに「ながさきぶらんど物語」構築と普及のための、市民によるながさきドラマ化計画、「長崎‘感’詰」の製品化、「ながさき歴史・交流トラスト認定商品」の商品化も具現化へむけて活動します。

将来的には、企画作成関係機関とのネットワーク化、中間支援体制の情報共有とその研究を行いながら、長崎の歴史・交流活動の支援を担う市民型トラスト構築の研究も視野に入れます。

平成20年度 ながさき・ぶらんど物語（イノベーション）塾活動実績

日 時	名 称	開催場所	人数	内 容
平成20年5月8日	オリエンテーション	メルカつき まちホール	19	自己紹介・スケジュールなどの 打ち合わせ
平成20年5月14日	第1回 イノベーション塾	東 山 手 地 球 館	20	オリエンテーションと昨年の成果報告
平成20年6月11日	第2回 イノベーション塾	東 山 手 地 球 館	28	雲仙歴史ガイド田浦氏を迎えて (1回目)
平成20年7月6日	第3回 イノベーション塾	東 山 手 地 球 館	10	NPO法人鹿児島探検の会 東川氏を迎えて
平成20年7月9日	第4回 イノベーション塾	東 山 手 地 球 館	32	雲仙歴史ガイド田浦氏を迎えて (2回目) 英国留学生受け入れ
平成20年8月27日	第5回 イノベーション塾	東 山 手 地 球 館	12	塾生間の情報の共有化と 居留地まつりへの参加について
平成20年9月10日	第6回 イノベーション塾	東 山 手 地 球 館	10	居留地シンポジウムでの展示、 碧樹館プログラムについて
平成20年9月13日	第7回 イノベーション塾	活 水 大 チ ャ ペ ル	6	長崎・居留地シンポジウム 「世界遺産と市民のまちづくり」
平成20年9月20日	第8回 イノベーション塾	ロワジール ホ テ ル	5	福岡人材育成NPO碧樹館 ディスカッション参加
平成20年9月21日	第9回 イノベーション塾	東 山 手 地 球 館	12	居留地まつり「長崎感詰」 「ながさきトラストシール」展示
平成20年9月22日	第10回 イノベーション塾	出 交 流 会 島 館	5	アメリカ領事館主催 リチャード・B・ダッシャー氏による 社会起業家セミナーへ参加
平成20年10月3日	第11回 イノベーション塾	出 交 流 会 島 館	10	長崎県観光推進本部研修会及び交流会 への参加（鹿児島・東川隆太郎氏）

日 時	名 称	開催場所	人数	内 容
平成20年10月15日	第12回 イノベーション塾	東 山 手 地 球 館	13	前NHK長崎局長三好達夫氏を迎えて 「長崎の歴史活用と映像化」
平成20年10月22日	第13回 イノベーション塾	東 山 手 地 球 館	22	伝習所まつり企画づくりと牛嶋さん、 植木さんヨーロッパ姉妹都市交流報告
平成20年11月12日	第14回 イノベーション塾	東 山 手 地 球 館	11	ICラボ、川口社長を迎えて 「普及活動におけるマーケティングと メディアミックス」
平成20年12月10日	第15回 イノベーション塾	東 山 手 地 球 館	19	長崎伝習所まつりの成果物について 企画会議
平成21年1月4日	第16回 イノベーション塾	南 山 手・ 東 山 手一帯	12	桐野さんガイドによる長崎さるく
平成21年1月14日	第17回 イノベーション塾	東 山 手 地 球 館	14	長崎伝習所まつりの成果物について 企画会議
平成21年1月18日	第18回 イノベーション塾	佐 賀 市	40	佐賀研修「佐賀から見る長崎」
平成21年1月24日	第19回 イノベーション塾	江 戸 町 たてまつる	14	大阪摂南大学 三藤教授を迎えて 「地域イノベーションの普及」
平成21年1月25日	第20回 イノベーション塾	南山手～小 菅修船場跡	5	長崎近代化遺産さるく (長崎近代化遺産研究会との合同開催)
平成21年2月21日	第21回 イノベーション塾	新興善 メモリアル ホール	25	電通九州水野尾部長を迎えて 「長崎観光とグッド イノベーション」
平成21年2月25日	第22回 イノベーション塾	東 山 手 地 球 館	15	長崎伝習所まつりの成果物について
平成21年3月7日	長崎伝習所まつり	ベルナード 観 光 通		成果物発表

ながさき・ぶらんど物語(イノベーション)塾

塾長	谷口 竜一				
1	一ノ瀬 恵介	21	横山 精士		
2	梅元 建治	22	力野 孝弘		
3	浦川 太一郎	23	若杉 亜希子		
4	遠藤 はる奈				
5	梶原 孝之				
6	小林 英則				
7	高浪 高彰				
8	月川 昌則				
9	寺原 雅子				
10	徳島 勝憲				
11	中村 尊				
12	平山 由美				
13	廣瀬 清香				
14	廣瀬 真未				
15	松尾 貞雄				
16	峰 孝之				
17	森實 節子				
18	山崎 利之				
19	山田 知代			事務局員	総合企画室 大川 義章
20	余語 保博				